

大会要項

岐阜県中学校総合体育大会・全国・東海大会岐阜県予選（体操競技・新体操）

1. 期 日 新体操 令和6年7月27日（土） 予備日29日（月）
選手受付 8:00（予定）
体操 令和6年7月28日（日） 予備日29日（月）
選手受付 8:30～8:45（予定）
前日準備や当日のプログラム等の詳細は6月28日以降にメールで通知する。
2. 会 場 岐阜メモリアルセンター ふれ愛ドーム TEL 058-233-8822
〒502-0817 岐阜市長良福光大野 2675
3. 参加制限 体操：団体は、1所属1チーム、3名から4名（補欠は2名以内）とする。
新体操：団体は、男子1校1チーム、6名（補欠は3名以内）とする。
女子1校1チーム、5名（補欠は3名以内）とする。

4. 競技の規定及び方法 (1) 体操
- | | | |
|-----------|-------------------------|---------|
| (男子) ① ゆか | ・ 12m×12mフロア | 70秒以内 |
| ② あん馬 | ・ 2部分の使用でもよい。 | 高さ115cm |
| ③ 跳馬 | ・ 高さ125cm | |
| ④ 鉄棒 | ・ 高さ275cm | |
| (女子) ① 跳馬 | ・ 高さ125cm | |
| ② 段違い平行棒 | ・ 低棒175cm 高棒255cm | |
| ③ 平均台 | ・ 高さ125cm 幅10cm 長さ500cm | 1分30秒まで |
| ④ ゆか | ・ 12m×12mフロア | 1分30秒まで |
- ・ 自由演技
男子：（公財）日本体操協会制定 2024 年度版体操競技男子採点規則
2024 年版中学校男子適用規則（U-15）を適用
女子：（公財）日本体操協会制定 2024 年度版体操競技女子採点規則、変更規則Ⅰ
女子体操競技情報最新版を適用（公財）日本体操協会制定競技規則最新版
（日本中体連体操競技遵守事項）までを適用
・ 禁止技…日本体操協会から通達のあった禁止技を実施した場合は、実施した種目を0点とする。
①演技は跳馬を除き1回のみとし、原則として演技のやり直しは許されない。
②採点上の疑義は、D得点については、D1に質問することができる。
③ゆか運動の音響機材は岐阜県体操協会のものを使用する。
④演技者は、所属を明示するマーク（30cm²以内）をユニフォームに付けること。

<団体>

- ・ 男子は、「ゆか・跳馬・鉄棒」の3種目の自由演技とする。
- ・ 女子は、「跳馬・平均台・ゆか」の3種目の自由演技とする。
- ・ 種目別4名中、ベスト3の合計得点で争う。

<個人総合>

- ・ 男子は、「ゆか・あん馬・跳馬・鉄棒」の4種目の自由演技とする。
- ・ 女子は、「跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆか」の4種目の自由演技とする。

<個人種目別>

- ・ 男女とも種目ごとに自由演技の得点で争う。
※団体出場の選手は、団体、個人総合、個人種目別の三つの選手権を兼ね、個人出場の選手は個人総合、個人種目別の二つの選手権を兼ねる。

(2) 新体操

- ①女子は、公益財団法人日本体操協会制定 2022 年～2024 年新体操女子採点規則【改訂版】とする。一部中体連ルールを適用する。男子は、日本体操協会 2022 年度版および中学校版規則集とする。
- ②手具は、個人は「リボン」「フープ」、団体は「フープ5」
- ③オールプラスチック製のクラブは使用不可とする。
- ④参加選手は、それぞれの所属名を示す標識（マーク）を前面ウエストより上につ

ける。マークの大きさは3 c m×3 c m以上の大きさとする。(団体は同一マークであること)

<団体競技>

自由演技2分15秒～2分30秒とし、【D得点+E得点】により順位を決定する。

<個人競技>

- ア) 個人総合 演技の時間は1分15秒～1分30秒とし、「リボン」及び「フープ」の2種目の自由演技【D得点+E得点】の合計点により順位を決定する。
- イ) 種目別 各種目の自由演技【D得点+E得点】によりそれぞれの順位を決定する。

5. 表 彰 体操：団体・個人種目別は3位まで、個人総合は6位までとする。
新体操：団体・個人種目別は3位まで、個人総合は6位までとする。

6. 申 込 方 法 申込書【様式1】は岐阜県中学校体育連盟HPからダウンロードする。
体操 6月 28日(金) 原本、データ共に 17時必着とする。
新体操 6月 28日(金) 原本、データ共に 17時必着とする。
※今年度より、地域スポーツ団体等としての参加を認める。ただし、岐阜県中体連ホームページの『地域スポーツ団体等に所属する中学生の「参加資格の特例」に関する規程』を遵守することを条件とする。
※体操、新体操ともに協会主催の東海ジュニア県予選会と合同開催をする。但し、申込は中体連と東海ジュニア県予選会とで別とする。また、中体連の団体出場及び学校としての参加をする選手は、ユニフォームのマークを学校のものとする。
※撮影許可申請をする場合は、申込書【様式1】とともに、撮影許可申請【様式2】のデータを6月28日(金)までに提出すること。

申し込み先

体操 〒500-8482 岐阜市加納大手町74番地
岐阜大学教育学部附属小中学校 伊藤 潤 宛
TEL : (058)-271-3507 Mail: ito.jun.a0@f.gifu-u.ac.jp
新体操 〒503-0128 安八郡安八町大野333
安八町立登龍中学校 小谷 結香子 宛
TEL : (0584)-64-2032 Mail: toryu@he.mirai.ne.jp

7. そ の 他 (1) 試技順、その他の運営細案は専門部に一任する。
(2) セパレートのリオタードは練習時でも認めない。
(3) 監督ならびに部活動指導員、及び認められたコーチは自校選手とともに競技場に入ることを認める。服装は、運動のできる服装とし、かかとのある運動靴を履く。
※短パン・ハーフパンツ・ランニングシャツでの入場は禁止する。
(4) 本大会は東海中学校総合体育大会の予選を兼ねる(新体操男子は除く)。
(5) 昼食は観客席で食べる。競技場内で飲み物を飲むことは許可をするが、こぼさないようにすること。ゴミは各自持ち帰ること。
(6) 警報発令時の対応については、次ページの実施細則を確認すること。
(7) 参加料：1人1,000円 当日現金で納入すること。

8. 東海中学校大会 出場について <体操>・団体は本大会の1・2位チーム、1チーム4名以内(補欠2名)とする。団体の参加枠で不足が出た場合は、①個人の選手(団体1チームにつき4名)で補うことができる。②個人で補うことができない場合は、前年度の上位県が優先して補うことができる。個人は本大会上位4名とする。(但し、団体で出場権を得た所属の選手は除き、順次上位から4名まで出場権を得る)。
・個人の出場は1所属につき男女各2名までとする。
・学校の団体が出場している場合、地域スポーツ団体等の団体の東海大会出場枠は成績に関係なく1チームまでとする。
<新体操>団体は本大会上位3位までとする。個人は本大会上位5位までとする。

令和6年度 岐阜県中学校総合体育大会 体操競技 実施細則

岐阜県専門委員長

<方向>

- ・ 会場（器具の準備・片付けを含む）、審判等の関係により、暴風・特別警報（地震等の注意情報を含む）が発令されていても、できる限り競技は実施する方向で運営する。また、出場校も会場に集合できるよう、事前に準備する。
- ・ なお、大会が延期になり、予備日の実施も困難な場合は「東海大会出場校、出場選手の決定に向けての会議」を開催し、東海大会出場校・選手を決定する。

1. 大会前日（会場準備・準備に参加した生徒ができる練習）に、開催地（岐阜市）で暴風・特別警報が発令された場合（それ以外は実施する）

- ① 午後1時までに解除された場合は、予定通り実施する。
- ② 午後1時から午後2時までに警報が解除された場合は、専門委員長から会場準備参加校、会場準備参加選手の監督との連絡で、集合できる参加校で会場設営を実施する。（会場準備参加予定校が減った場合は、会場設営に時間を要するため、会場準備に参加したとしても練習時間が確保できるとは限らない。）
- ③ 午後2時を過ぎても警報が解除されない場合は、大会前日の予定を全て中止する。ただし、可能な限り、監督・コーチ・役員及び集合できる参加選手で会場設営を行うように努力する。

2. 大会当日（審判会議・監督会議・公式練習・開会式・競技・閉会式）に開催地で暴風・特別警報が発令中の場合

- ① 大会当日の午前6時までに警報が解除されたときは、大会当日の日程を大会前日の実施状況に応じて、できる限りの予定で行う。
ア 前日に会場設営が予定通り行えた場合は、当日も予定通り実施する。
イ 前日に会場設営ができなかった場合は、当日の日程を会場設営に要した時間分を繰り下げて行う。
- ② 午前6時に暴風警報が解除されていない場合は、解除されるまで自宅、宿舎で待機する。
- ③ 午前6時から午前12時までに警報が解除された場合は、専門委員長から出場校、出場選手の監督に連絡し、規定の時間（1班：午後1時、2班：午後2時）から実施する。その際は、競技内容を短縮することもありえる。
ただし、競技は行うものの、集合できなかった出場校、出場選手がいた場合は、「4. 競技ができなかった場合の東海大会出場の決定方法」により、上部大会への出場者を決定する（表彰状は、競技を実施した学校に与える。）。

※審判員で交通機関の遮断等で、会場に到着することが困難な場合は、審判長が、その審判員の代わりを役員の中で審判有資格者から補充をする。補充が困難な場合は、該当する種目を3審制から2審制に変更することができるなどの対処を可能な限り行う。

ア 前日に会場設営ができていて、午後1時までには審判や男女第1班が集合ができること、さらにすべての出場校が会場に午後2時までには集合できるのであれば、競技日程・内容の変更や短縮によって大会を実施する。

<考えられる変更や短縮内容>

○競技日程（時間）の変更

○公式練習の時間の短縮

○競技種目の限定（4種目を3種目、2種目へ変更）

イ 前日に会場設営ができていない場合、午後2時までにはすべての出場校や審判が会場に集合できれば、競技種目を限定して大会日程を調整して大会を実施する。

ウ 上記①②の条件下でも、大会実施が困難な場合は競技を実施せずに中止する場合もある。

<大会実施（予備日の実施を含む）が困難と思われる状況>

○審判員の確保ができない場合

○競技時間が十分に確保できないと判断した場合など

※ 出場校、審判員は天候など心配なときは、できるかぎり会場の付近へ早めに来ていること。

④ 正午を過ぎても解除されない場合は、予備日に実施する。（予備日の実施も困難な場合、会場の後片付けについては参加できる監督、選手で行う。）

3. 予備日での実施について

- ・ 2の④に該当する場合、予備日での実施とする。
- ・ ただし、審判の都合によっては大会中止の可能性がある。
- ・ 予備日での実施の場合、専門委員長から出場校の顧問へ連絡をし、日程等の詳細を確認する。

4. 競技ができなかった場合の東海大会出場の決定方法

○ 予備日午後1時より「東海大会出場校、出場選手の決定に向けての会議」を仮設し、大会会場にて会議（集合している大会役員、競技委員、監督）を開催し、協議のうえ決定する。

（なお、競技を行ったものの、参加できなかった出場校・出場選手がいた場合は、その出場校、出場選手の実績を踏まえて決定する。）

- ・ 東海大会出場者（団体・個人）の決定は、昨年度の県大会の実績を踏まえながら決定する。